2024　年度　　授業概要

科目名		聴覚障害学Ⅱ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間　（1単位）	配当学年・時期	言語聴覚士科2年			必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

聴覚障害のリハビリテーションの概要を理解した上で、臨床に必要な理論的基礎を習得する。

〔授業全体の内容の概要〕

聴覚障害の特徴、評価法・指導法を学ぶ。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

聴覚障害の特徴を理解し、リハビリテーションに必要な評価法、指導法の基礎を習得する。

回数	講義内容
1	聴覚障害の理解
2	聴覚の発達と評価（1）
3	聴覚の発達と評価（2）
4	リハビリテーション概論（1）
5	リハビリテーション概論（2）
6	聴覚活用法（1）
7	聴覚活用法（2）
8	聴覚活用法（3）
9	聴覚活用法（4）
10	視覚聴覚二重障害の実態について①
11	「ある盲ろう者の生活から」（ビデオ視聴）
12	手話・指文字の演習（ビデオ視聴）①
13	〃　②
14	〃　③　（音声、身振り、文字、AAC等）
15	まとめ

【　準備学習・時間外学習　】

【　使用テキスト　】

書籍名	著者名	出版社
準言語聴覚障害学　聴覚障害学　第３版		医学書院

【　単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）　】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。